



鴻巣市立下忍小学校

令和6年8月30日発行

学校だより

◎教育目標（目指す児童像）

「進んで学ぶ子」「思いやりのある子」「元気でがんばる子」

鴻巣市鎌塚10番地

TEL 548-2300

あきらめない自分をつくる

校長 野本昌宏

長い夏休みが終わり、学校に子どもたちの元気な声が戻ってきました。今日から2学期が始まりました。残暑も厳しそうですが、子どもたちの健康に留意しながら、職員一同、教育活動に取り組んで参ります。



この夏は、オリンピックパリ大会が開かれました。日本勢は、海外でのオリンピックでは最多の金メダル獲得となりました。各競技での選手の躍動の様子に、勇気をもらったり涙したりとスポーツの力を感じた期間でもありました。

その中でも私が、特に印象的だったのが、スケートボード男子ストリートで金メダルとなり、オリンピックを2連覇した堀米優斗選手です。

決勝でのベストトリック5本中の2本目から4本目は失敗し、最後の5本目に挑む時点での順位は7位とメダルにも届かない状況でした。その中で、5本目を見事決め、オリンピック連覇を達成したのでした。

実は、堀米選手は、オリンピック予選でも振るわず最後の予選で1位をとったとしても周りの結果次第ではパリ大会出場がかなわないという状況でした。その中で、大逆転で1位となり、オリンピック代表の座をつかんだのでした。

堀米選手は、パリ大会での金メダル獲得後のインタビューでは、「少しの可能性、1%の可能性を最後まで信じた。」と答えています。

ただ、忘れてはならないのは、可能性を広げる努力を怠らなかつたということです。

「今まで、やってきたこと、練習してきたことを信じた。」

「スケートボードは常に失敗と成功が隣り合わせにあります。新しい技に挑戦するときは何度も何度も失敗しますが、成功するまで挑戦し続けるということを大切にしています。」（イメージキャラクターを務める企業のHPより）

成功したときのイメージをもち、挑戦する気持ちをもち続けるから失敗も乗り越えていけるのかもしれませんが、金メダリストのみならず、大切にしたい心構えだと思います。

家庭教育学級(人権教育研修会)について

夏季休業期間中の7月29日(月)、家庭教育学級の1つとして「人権教育研修会」が下忍小学校図書室にて開催されました。鴻巣市教育委員会より指導主事の先生を講師として招き、保護者の方にもご参加いただき、教職員と一緒に「人権」について考えました。とてもよい機会となりました。



防災週間に合わせた命を守ることの確認について

8月30日(金)～9月5日(木)は「防災週間」となっております。いつ災害がおきても不思議ではないと言われ続けています。日頃の備えが災害による被害を最小限に抑えることにつながります。防災週間に合わせ、各ご家庭において、命を守る行動についてと下記を参考に災害に対する備えについてご確認いただければと思います。

- 家具等の転倒防止、収納物の落下防止
- 非常持ち出し品の準備(救急箱、懐中電灯、ラジオ、電池等)
- 3日～1週間分程度の食糧、飲料水の備蓄
- 家の中でのとるべき行動の確認(危険箇所、避難経路、要配慮者等の避難方法)
- 避難所の確認

指定避難所(各小学校)、補助避難所(各中学校)、福祉避難所(公民館や福祉施設等)、災害発生直後の避難場所(新宿第一公園等)

※詳しくは鴻巣市ホームページを参照ください。[避難場所について・鴻巣市公式ホームページ\(危機管理課\)](http://city.kounosu.saitama.jp) (city.kounosu.saitama.jp)

※本校に避難する際には、災害によって避難する場所が違います。

地震時等の震災避難の場合…体育館・本校校舎

水害時等の洪水避難の場合…本校校舎2階以上

- 家族間の安否確認方法の周知等

また、学校からの依頼がなく「児童引き取り」に来ていただくのは、**震度5弱以上の揺れがあった時** ですので、よろしく願いいたします。

よいよ2学期に向けて

夏季休業中を利用し、全教職員で2学期以降子どもたちをよりよく成長させるためにどうしていけばよいかを考えながら様々な研修(学力向上・情報教育・教育相談・各教科の進め方等)を行いました。2学期以降の子どものためのよりよい成長のために学んだことを生かしていきたいと思っております。

